

ひなたぼっこ通信

2017年
11月号

放課後等デイひなたぼっこ 開所式がありました

十月十四日(土)に「放課後等デイサービス・ひなたぼっこ」の開所式が行われました。行政の方々や学校関係の方々、そして利用予定の保護者のみなさんが参加してくださいました。さらにひなたぼっこの各事業所の職員も駆けつけました。この場所の使用を許可いただいた、高原病院の前統括院長の井上先生からも励ましの言葉をいただきました。

早速その翌週から子ども達の利用が始まりました。初めは「慣れない場所・慣れない人」に戸惑いの表情を見せていた子ども達も次第に緊張がほぐれて、支援者にスキップを求めたり、誘いに応えて工作をしたりし始めています。土曜日には西友まで買い物に行つて、お好み焼きを作りました。



紙芝居を見て、材料や作り方を学んだ子ども達は、カートを押しながらスーパールの棚から目指すものを探すのです。自分で買いい物をして自分で作ったお好み焼き。あっという間にペろりと食べたことは言うまでもありません。その時、どれだけ幸せそうな表情をしていたか、みなさん想像してみてください。

宅幼老所から

「がんばりました!」

先日、宅幼老所では毎年恒例行事となっている、『秋の大運動会』が開催されました。

行われた競技は、おてだまを投げてかごに入れる〈玉入れ〉や、綱の代わりに竹を使った〈竹引き〉、ビーチボールを転がして運ぶ〈玉おくり〉などです。それらの競技をテーブルごと協力して行いました。

利用者様の中には、「こうした方がもっと上手にできるよ!」と周りの利用者様にアドバイスをされている方もいらっしゃいました。賑やかでいつも以上に笑顔が絶えない、楽しい運動会でした!そして運動会と言えば!

運動会当日の昼食は、『うどんとう会弁当』を皆んなでいただきました。



そのお弁当は、稲荷、からあげ、梨など盛りたくさんな内容でした。

召し上がった利用者様は、「おいしい!特別感があっていいね」と言われ、いつもとは少し違った運動会仕様の昼食を楽しみました。

どどーん!これが運動会弁当です!おいそうでしょう?



ケアハウスから

「救急救命講習」

今回ケアハウスでは、救急救命士の指導の下、AED講習がありました。

施設では年間を通し、職員は指導を受けてきましたが、今回は3時間講習という中で、より深く理解し、そして実践するといふものでした。

県内では高校生により一人の方の命が救われたとの事例があるそうです。倒れている人に直面したら、ためらわずに、まず行動する事で尊い命が救われる事があるのです。

年齢に関係なく自分自身もまた、助ける側、助けられる側と両方の可能性があります。

現在施設の利用者様の日々の健康をお預かりさせて頂いています。高齢の方も多い中で方が一危険な状態になり、その場に直面、対応する時、スタッフと連携をとり心肺停止させないように、出来る限り努力し命につなげる事。この事をしっかりと心に留め、日々仕事をしていきたいと思えます。

今回の講習会は大変勉強になり、命をつなぐ大切さを改めて学びました。(み)



グループホームから

「午後のカルタ会」2階

秋も深まり、肌寒さを感じる季節となりました。屋内で過ごされることが多くなりましたので、レクリエーションで「カルタ」、百人一首、「オセロゲーム」などで過ごされております。昨年、お知らせしました「ジエンガ」も定着しておりますが、今いちばんの人気は「ことわざ・カルタ」です。大きな声、歓声が上がリ、時間を忘れて、皆さん、楽しまれています。

グループホーム2Fの午後は楽しい「カルタ会」

です。

「ブドウ狩りツアー」1階

毎年恒例のぶどう狩りに出かけました。天気はまずまずでしたが、風があり、少し寒い日になりました。グループホーム貸し切りのバスに「よいしょ、よいしょ。」と足取りも軽く乗り込み、高速で塩尻まで向かいます。色づき始めの紅葉や諏訪湖も見え、会話も弾んでいる様子でした。

ぶどう園に到着してバスから降りると、高いところにぶどうが沢山なっていました。

「見て、見て。凄いよ。あれ食べられるの。でも、届かないね。」と、両手をあげて言われていました。

さあ、いよいよ食べ放題開始です。今度は手の届くところにぶどうがあります。自分でも取れます。「採りに行きませんか。」とお尋ねしました。でも、ぶどう園の方が持って来てくれたぶどうを食べる手が止まりません。結局その手は最後まで止まらず、ぶどうを採りに行くことはありませんでした。ま、「採り放題」じゃなくて「食べ放題」ですから・・・。

またその日は風も強く寒かったので、普段とても寒がりの方が嫌にならないかの心配もありました。それも、ぶどうを食べる手が止まらず、手の動きで体が温まったかして「心配無用」といった様子でした。

食べ放題も終盤。もう食べきれない思い、残りそうなぶどうを袋に詰め始める方も。

一番人気はナイヤガラで、みなさん「とてもおいしい」と言われていました。

その後みんなでお弁当を食べましたが「もう食べられない!」と、みなさん少し残し気味でした。別腹にはならなかったようです。それでも昼食後に買った売店の試食は別腹だったようです。

帰りのバスで諏訪

湖やハケ岳を眺め、

疲れた様子もなく、ぶどう狩りを満喫なさった様子でした。短い時間でしたが「ぶどうに始まり、ぶどうに終わった」楽しいバスツアーでした。



放課後等デイ 絵本とおもちゃを大募集!

ご自宅で眠っている絵本やおもちゃがあればご寄付をいただけないでしょうか。子ども達は本が大好きで、目を輝かせて読み聞かせを聞きます。おもちゃや楽器なども少しずつご寄付をいただいています。これも、子ども達は喜んでいきます。ご連絡をお持ちします。

発行 社会福祉法人ひなたほっこ

理事長 森 正明

〒399-0211

富士見町富士見11650-1

TEL 0266-61-2335

FAX 0266-61-2336